

かいたくファンド

追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ



最終交付運用報告書

第13期(信託終了日 2020年10月23日)

(作成対象期間 2020年2月26日～2020年10月23日)

第13期(信託終了日 2020年10月23日)	
基準価額	23,487円
純資産総額	764百万円
第13期(2020年2月26日～2020年10月23日)	
騰落率	1.7%
分配金(税込)合計	0円

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定に基づき、当ファンドを消滅ファンドとするファンド併合を行うことを決定し、2020年10月26日
ゴドモファンドに併合いたしました。
つきましては、信託終了日までの運用状況をご報告申し上げます。
今後は存続ファンド「ゴドモファンド」にて、皆さまの長期投資の充実のため、努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(注1)騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2)純資産総額の単位未満は切捨てして表示しております。

- 本交付運用報告書は、運用報告書(全体版)に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。
- <閲覧方法>
下記ホームページにアクセス→「かいたくファンド」→「運用報告書・目論見書」
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、下記お問合せ先までお問い合わせください。

clover
asset management

【お問合せ先】

クローバー・アセットマネジメント株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目3-4 京橋日英ビル3階

[ホームページ] <https://www.clover-am.co.jp>

[電話] 03-6262-3923 / [通話料無料ダイヤル] 0800-5000-968

[営業時間] 9:00～17:00 (土日祝日・年末年始を除く)

運用担当者の紹介

かいたくファンドは、さまざまなジャンルの実業経験者と金融専門家が、それぞれの経験を活かしファンド運営を行っています。週一回の運用会議と月一回の投資政策委員会は、東京⇄ジュネーブのネット会議となります。グローバルなネットワークに基づいた独特の視点は、数ある国内ファンドの中でもユニークなものであると自負しております。

■代表取締役社長 運用部長

多根 幹雄



スイス、ジュネーブに1999年から9年間駐在し、グループ企業の資金運用を担当してきました。その間、多くのプライベートバンクやファミリーオフィスからの情報により、世界18カ国100を超えるファンドマネージャーを訪問。実際投資を行う中で、良いファンドを見極める選択眼を磨くことが出来ました。また当時築いたスイスでのネットワークが現在の運用に大いに役立っています。

また、大手のメガネ専門店チェーンの役員として実際の企業の盛衰も経験し、どんな時に組織が良くなり、また悪くなるかを身をもって体験しました。そこから、どんな企業やファンドにも旬や寿命があるというのが持論です。その為、常に新しいファンドを発掘し、旬のファンドに入れ替えを行うことで、長期で高いパフォーマンスを目指しています。

■専務取締役 運用担当

磯野 昌彦



さわかみ投資顧問株式会社(現さわかみ投信株式会社)のスタートアップメンバーとしての2年間の経験他、グループ企業のIR担当(インベスター・リレーションズ、投資家とのコミュニケーションをする仕事です)を10年間にわたって担当。評価される企業側として、ファンドマネージャーやアナリストから厳しい質問を受ける立場でしたが、当時、「この人は手ごわい」「この人は勉強不足」などと、各人を個別評価することで、どんなファンドマネージャーやアナリストが優秀かを見極める力がつきました。今は逆の立場で厳しい目でファンドを評価しています。

■取締役 運用担当

峯岸 秀孝



かつて1980年代パリ在住の時から、実務と並行してグループ会社創業オーナーの秘書として、一緒に多くの国々を廻り様々な人と出会い、貴重な体験をすることが出来ました。また2000年に金融のメッカ、スイスのジュネーブに赴任後は、世界各国のファンドマネージャーを訪問、実際に投資にも携わってきました。そして2008年のリーマンショックによる急転直下、奈落の底への暗夜行路。地獄の顔もチラッと垣間見ました。今にして思えばこれら諸々の経験が、本物のファンドを見極めるのに随分と役立ってくれていると思います。

現在はグループ会社のジュネーブ・オフィスに在籍しており、ヨーロッパを中心とする新規ファンドの開拓を行うと共に、投資政策の会議にネットシステムを通じて積極的に参加。現地ヨーロッパで肌で感じる独自の視点を提供しています。

■チーフ・ストラテジスト

樋口 恭信



1959年にジュネーブに渡り、現在もスイス在住。1982年から野村証券の債券トレーダーとして東京、ロンドンで勤務した後、アジアファンドやボンドファンドの運用に従事。1996年からスイスのピゲ銀行にて国際分散投資ファンド、ヘッジファンドのファンド・オブ・ファンドや、日本株式ファンド、インカム・ファンドなど幅広い商品の運用に従事し、その経験を銀行の資産運用部門でも活かしてきた金融のスペシャリスト。世界の流れが変化し、規制が強化される中で運用の仕方も変わってきている。変化が生まれるということは新たな機会が生まれるということ。それも楽しみです。

■運用部 アナリスト

韓 栄淑

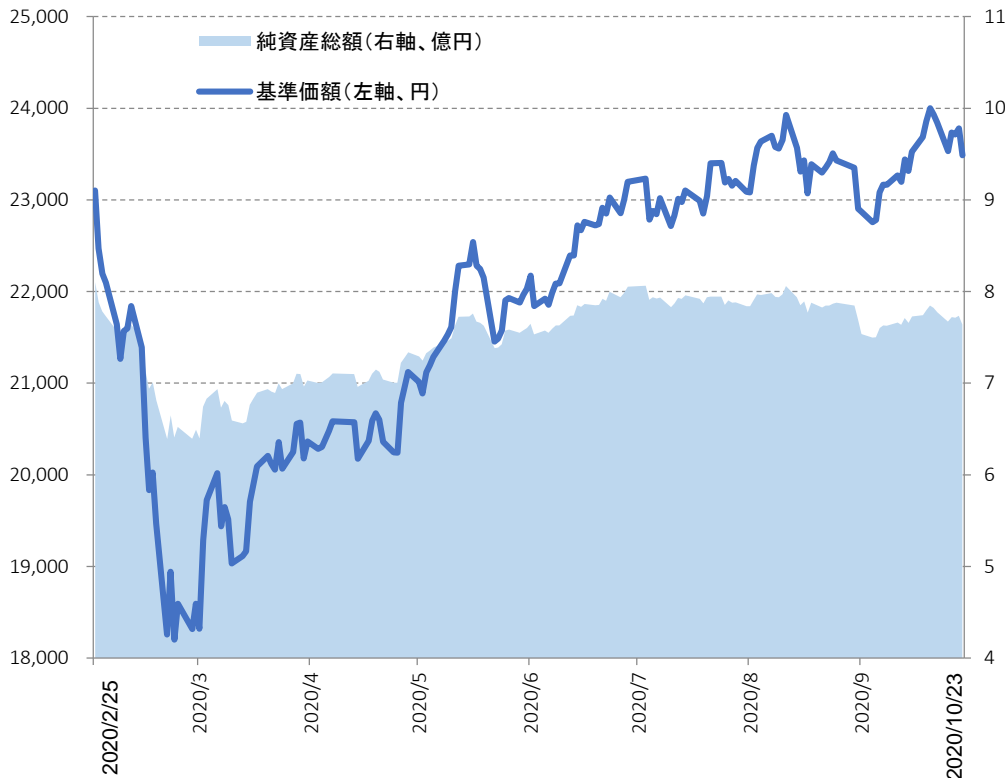


2005年よりみずほ証券香港にて、香港と台湾の機関投資家向けの日本株営業に従事。2007年に東京に戻り、三菱UFJモルガン・スタンレー証券にてエコノミストとして日本経済の分析に携わる。資産管理会社、マッキンゼーを経て、2018年よりクローバー・アセットマネジメントにて運用部アナリストとして勤務。刻一刻と変化する世界経済の動きを、金融市場を通してより身近に感じられることがこの仕事の最大の魅力だと思います。これまでの経験をファンド運用に活かしていけたらうれしいです。

運用経過の説明

期中の基準価額等の推移(2020年2月26日~2020年10月23日)

基準価額の動き 基準価額は期首に比べ1.7%の上昇となりました。



第13期首	23,103 円
第13期末 (信託終了日)	23,487 円
(既払分配金)	(0 円)

騰落率	1.7%
-----	------

(注1) 当ファンドは、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注2) 分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

世界各国の株式市場の変動や為替の影響により、組み入れファンドの基準価額の変動があり、当ファンドの基準価額も変動します。新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年3月では、株式市場が大きなダメージを受けましたが、その後、新型コロナウイルス感染対策とともに各国政府が金融政策や財政支援で経済を下支えすることで大きく上昇してきました。当ファンドについても、10月中旬には、基準価額が設定来最高値を更新しました。変動要因についての詳細は後述(5頁)の『投資環境』の通りです。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2020年2月26日～2020年10月23日)		
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	111 (59) (48) (5)	0.507 (0.270) (0.219) (0.023)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託受益証券)	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・投資信託受益証券の売買に係る支払手数料
(c) 保管費用等 (監査費用) (その他)	23 (13) (10)	0.105 (0.059) (0.046)	(c) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、有価証券の保管及び送金・移転等に要する費用
合計	135	0.617	
期中の平均基準価額は 21,879 円です。			

(注 1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しております。

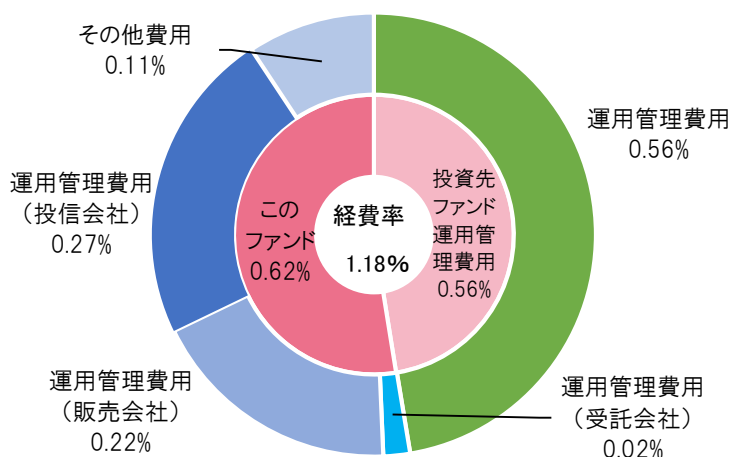
(注 3) 金額は項目毎に円未満は四捨五入して表示しております。

(注 4) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数点以下第4位を四捨五入して表示しております。

【参考情報】

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は、1.18%です。

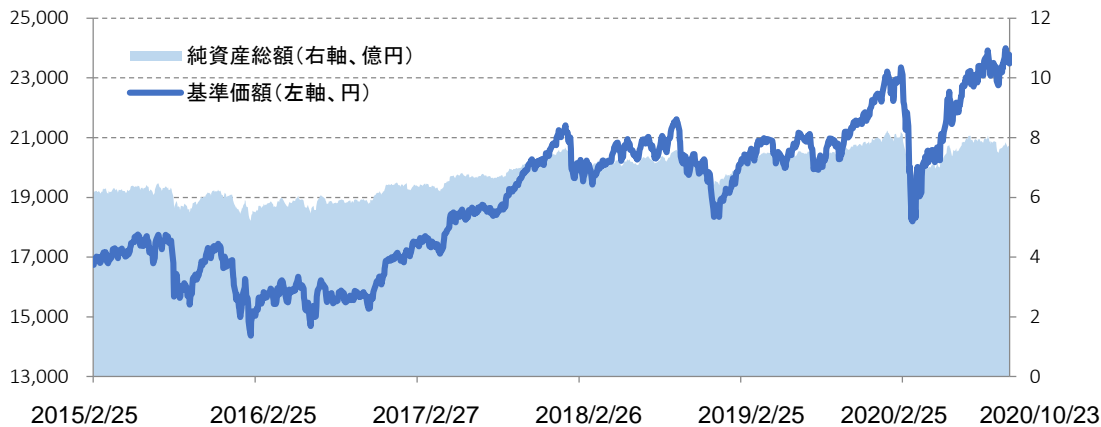


経費率(①+②)	1.18%
①このファンドの費用の比率	0.62%
②投資先ファンドの経費率	0.56%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券・投資証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年2月25日～2020年10月23日)



	2015/2/25 決算日	2016/2/25 決算日	2017/2/27 決算日	2018/2/26 決算日	2019/2/25 決算日	2020/2/25 決算日	2020/10/23 信託終了日
基準価額(円)	16,741	15,038	17,393	20,078	20,126	23,103	23,487
期間分配金合計(税込)	—	—	—	—	—	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率	26.7%	-10.2%	15.7%	15.4%	0.2%	14.8%	1.7%
純資産総額(百万円)	614	549	636	722	709	810	764

(注1) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注2) 分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨てして表示しております。

投資環境

2019年末、中国武漢で感染が広がりはじめた新型コロナウイルスは、当初は一地方の突発的な出来事と思われていましたが、2020年1月下旬には、日本、韓国、その他アジアの国が感染拡大の脅威にさらされる事態となり、2月下旬から、ヨーロッパにも拡大、今期に入って世界の株式市場は大きく下落を始めます。3月初旬には米国でも急速な感染拡大が始まり、当初抑え込みに自信を見せていたトランプ大統領も3月末には非常事態宣言を発令することになりました。ウイルスの感染による災厄は過去にもありましたが、急速なグローバル化の中で、世界的な規模での拡大に向かい、株式市場の未曾有の下落に向かうこととなりました。

3月末から、米国では、感染拡大を防ぐための都市のロックダウンがNYをはじめとして全域に拡大、失業者が急増、海外との行き来も完全に封鎖となりました。こうした中、同時に、米国政府は、過去最大規模の金融政策、財政支援に乗り出し、経済の再生に向けて動き出しました。ヨーロッパもアジアも温度差はあるものの同じような状況で、医療崩壊をギリギリ起こさないように、感染を防ぐため、人の行き来を止め、経済活動を制限しながら、金融政策、財政支援で再生の道を探ってきました。

こうした中、最初に大きなダメージを受けた中国が、徹底したロックダウンや経済活動の制限、海外との往來の禁止を行い6月には、ほぼ拡大を抑え込み、9月初めには大掛かりな「コロナ終息宣言」を行いました。

一方、ヨーロッパ、アメリカでは、中国ほど徹底した感染対策が取れず、感染拡大の沈静化はあるものの、コロナ終息時期は見通せない状況です。

株式市場は、各国政府の徹底した金融政策でゼロ金利状態が常態となり、失業者には程度の差こそあれ給付金等に支援があり、株式市場は3月末を底に順調に回復してきています。

当ファンドの運用経過

期初には、前期末から続いて、コムジェスト・グロースワールド(外国籍ユーロ建て)を運用の利便性も考え、新規組成日本籍ファンド「コムジェスト世界株式ファンド(円建て)」に順次入れ替えを行いました。この時期、キャッシュ比率を高めにしておりましたが、この入れ替えのタイミングで、売りと買いがあったために、キャッシュ比率が15~25%強に高まった期間が新型コロナウイルス禍によるマーケットの大きな下落と重なり、当ファンドの基準価額の下落は小さめになるという幸運もありました。3月中旬には、コロナ禍の影響でマーケットが大きく下落、かいたくファンドの基準価額も年初来最安値となりましたが、その後、徐々に回復、4月には、マーケットの影響を大きく受けやすいTOPIX ETFを全売却し、現金比率を14%に高めました。その後、マーケットは、さらに回復。9月に入って基準価額は、設定来高値を更新しはじめ、10月14日には24,000円となりました。10月26日、当ファンドは、コドモファンドに併合されました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

分配金

ファンド併合による信託終了のため、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、「コドモファンド」に引き継がれ、当該ファンドの運用方針に基づき運用いたします。

お知らせ

【ファンド併合のお知らせ】

「かいたくファンド」(以下、「当ファンド」)は、「コドモファンド」(以下、「存続ファンド」)を対象として、当ファンドを消滅ファンドとするファンド併合を下記の通り行いました。当ファンドへご投資いただいているお客さまには、当ファンドの保有口数に応じて存続ファンドの受益権が割り当てられております。

記

【ファンド併合の理由】

当ファンドおよび存続ファンドは、運用に係る基本方針および運用方法、投資対象の種類や分類等、何れも類似した内容となっています。ファンドを併合することにより、経営資源を集中させ、より質の高い運用を提供することが可能となり、これまで以上にお客さまの資産形成により一層貢献できると考えられるため、下記のスケジュールでファンド併合を行いました。

<スケジュール>

2020年10月12日(月):当ファンド併合に関する所要の約款変更適用

2020年10月23日(金):割当比率計算日、当ファンドの信託終了日

2020年10月26日(月):ファンド併合日

<存続ファンド割当の内容>

当ファンドと存続ファンドの口数あたりの純資産総額の比に基づいて、当ファンドの口数あたりの存続ファンド割当比率が計算され、当ファンドの保有口数に応じて存続ファンドの受益権が割り当てられました。

当ファンドへご投資いただいているお客さまには、当ファンドの受益権1口に対し、存続ファンドの受益権1.1936102口が割り当てられました。

<その他>

課税上は当ファンドの割当比率を考慮した取得価額をもとに取り扱われております。

<存続ファンドの概要>

ファンド名	コドモファンド
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
信託期間	無期限
決算日	毎年2月25日(休業日の場合は翌営業日)
信託報酬	年1.10%(税抜1.00%) 実質的な負担:年1.7±0.5%(税抜/概算)
信託財産留保額	なし

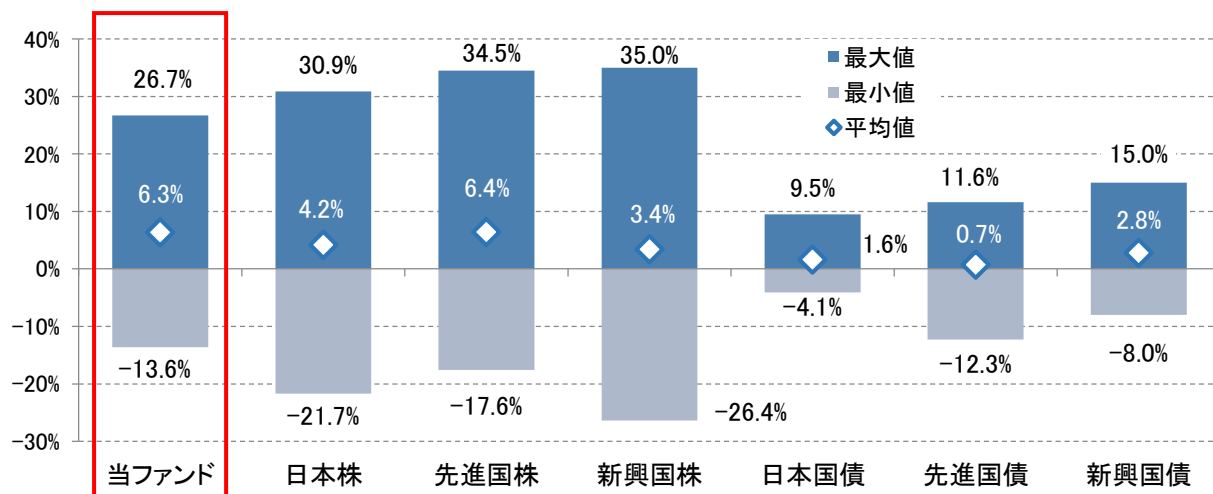
※ファンド併合とは複数の投資信託の信託財産を一つの投資信託の信託財産とすることをいいます。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ
信 託 期 間	信託の併合に伴い、2020年10月23日をもってこの信託を終了いたしました。 (設定日 2008年4月22日)
運 用 方 針	複数のファンドへの分散投資を通じて、信託財産の成長を計ることで投資家の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とします。
主 要 投 資 対 象	主として有価証券に投資する投資信託証券(投資信託の受益証券(投資法人の投資証券を含みます。))を主要投資対象とします。
運 用 方 法	厳格な基準に基づいて選択されたファンドを活用することで、景気変動のサイクルに沿ったカントリ ーアロケーションの切り替えによって、資産配分の調整を行っていきます。短期的な市場変動に惑 わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、収益配分方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、 市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないことがあります。)当ファンドは分配金再投資専 用とします。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年10月末～2020年9月末)



(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年10月末から2020年9月末の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を示したものです。

(注3) 上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【各資産クラスの指数】

日本株	: Morningstar	日本株式指数(税引前配当込み、円ベース)
先進国株	: Morningstar	先進国株式指数(除く日本、税引前配当込み、円ベース)
新興国株	: Morningstar	新興国株式指数(税引前配当込み、円ベース)
日本国債	: Morningstar	日本国債指数(税引前利子込み、円ベース)
先進国債	: Morningstar	グローバル国債指数(除く日本、税引前利子込み、円ベース)
新興国債	: Morningstar	新興国ソブリン債指数(税引前利子込み、円ベース)

(注)

- Morningstar 日本株式指数(税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- Morningstar 先進国株式指数(除く日本、税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- Morningstar 新興国株式指数(税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- Morningstar 日本国債指数(税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- Morningstar グローバル国債指数(除く日本、税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- Morningstar 新興国ソブリン債(税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

※全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、クローバー・アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます)とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstar のサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが当社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、当社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、当社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

当ファンドのデータ

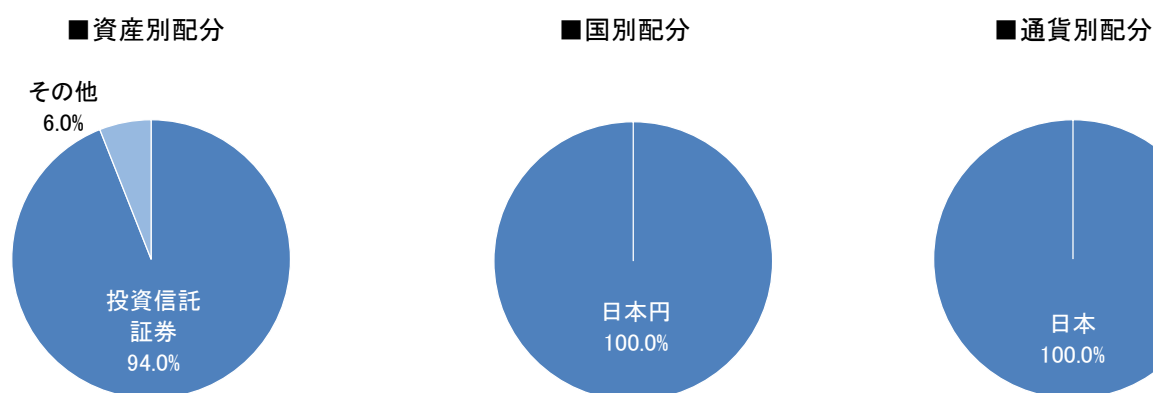
当ファンドの組入資産の内容(2020年10月23日現在)

	第13期(信託終了日2020年10月23日)組入比率
コムジエスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	46.7%
コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド [®] 90(適格機関投資家限定)	38.6%
コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド [®] 95(適格機関投資家限定)	6.2%
SPDR ゴールド・シェア	2.4%
その他(短期金融資産等)	6.0%
組入ファンド数	4 銘柄

(注1)組入比率は純資産総額に対する割合です。

(注2)詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

(注3)小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2)国別配分については投資しているファンドの発行国を表示しております。

(注3)小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

純資産等

	第13期(信託終了日2020年10月23日)
純資産総額	764,086,784 円
受益権総口数	325,316,511 口
1万口当たり基準価額	23,487 円

(注)当期(当作成期間)中における追加設定元本額は17百万円、同解約元本額は43百万円です。

組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容については運用報告書(全体版)に記載しております。

1. コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

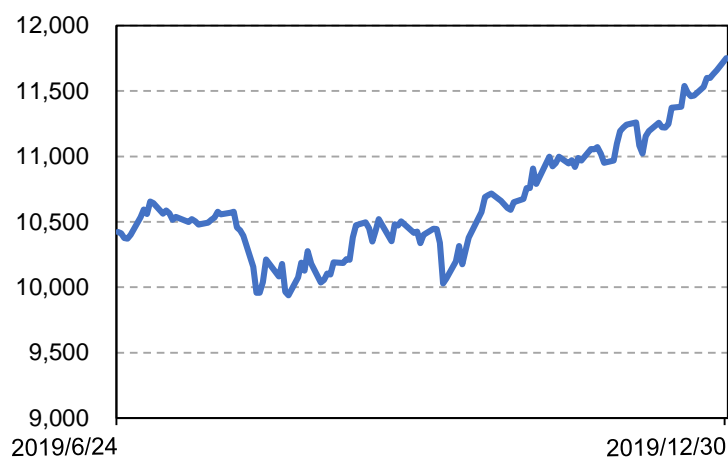
このファンドは 2020 年 2 月 13 日に設定され、2020 年 2 月 14 日より組入を開始しました。
初回決算を迎えておらず、直近の決算日情報がないため記載しておりません。

2. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

このファンドは2019年6月24日より組入を開始しました。

■基準価額の推移(2019年6月24日～2019年12月30日)

(円)



■1万口当たりの費用の明細

(2019年1月5日～2019年12月30日)

項目	金額(円)	比率(%)
(a)信託報酬	101	0.976
(投信会社)	(64)	(0.618)
(販売会社)	(31)	(0.304)
(受託会社)	(6)	(0.054)
(b)売買委託手数料	2	0.015
(株式)	(2)	(0.015)
(c)有価証券取引税	1	0.012
(株式)	(1)	(0.012)
(d)その他費用	7	0.070
(保管費用)	(4)	(0.041)
(監査費用)	(3)	(0.029)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	111	1.073

期中の平均基準価額は10,311円です。

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(注2)消費税は報告日の税率を採用しております。

(注3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数

(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数

(注4)金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。

(注5)比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■組入資産の明細(2019年12月30日現在)

銘柄名	当期末
	比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注1)ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(27,104,622千円)の投資信託財産総額(27,231,114千円)に対する比率は99.5%です。

(注2)外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

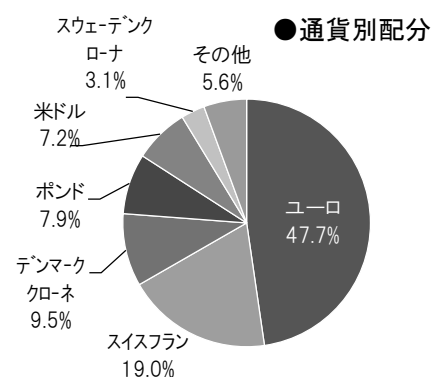
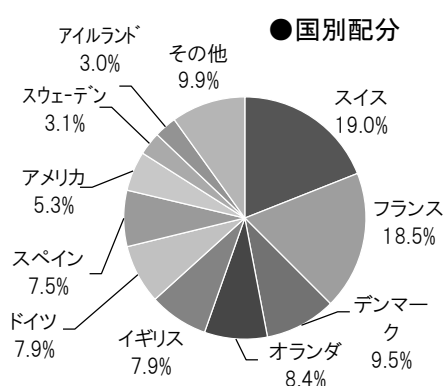
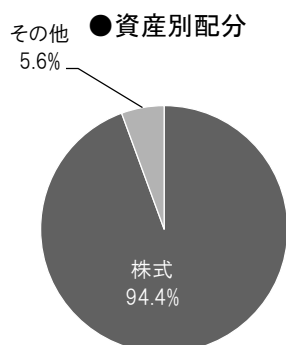
1米ドル=109.56円	1ユーロ=122.54円	1ポンド=143.48円
1スイスフラン=112.40円	1スウェーデンクローナ=11.75円	1デンマーククローネ=16.40円

■組入上位 10 銘柄(2019 年 12 月 30 日現在)

	銘柄名	MSCI 業種分類	通貨	国(地域)	比率(%)
1	ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN	ヘルスケア	スイスフラン	スイス	4.4
2	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーククローネ	デンマーク	4.4
3	ASML HOLDING NV	情報技術	ユーロ	オランダ	4.4
4	ESSILORLUXOTTICA	一般消費財・サービス	ユーロ	フランス	4.4
5	STRAUMANN HOLDING AG-REG	ヘルスケア	スイスフラン	スイス	4.1
6	INDITEX	一般消費財・サービス	ユーロ	スペイン	4.0
7	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	ユーロ	スペイン	3.5
8	HEINEKEN NV	生活必需品	ユーロ	オランダ	3.4
9	SAP SE	情報技術	ユーロ	ドイツ	3.4
10	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	ユーロ	フランス	3.2
組入銘柄数		42 銘柄			

(注 1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注 2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



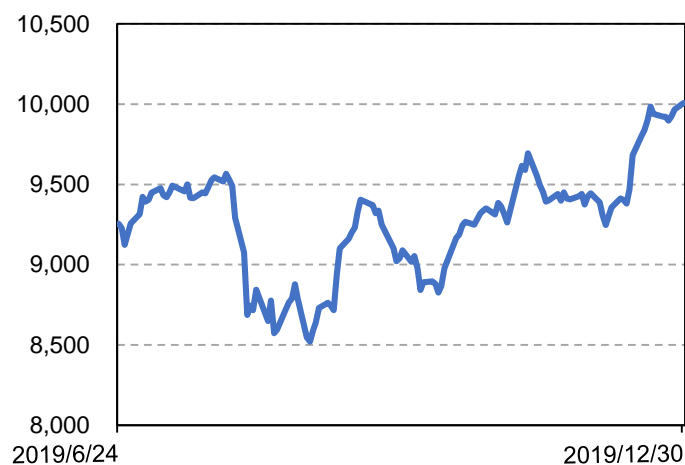
(注 1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注 2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

3. コムジェスト・エマーシングマーケット・ファンド95 (適格機関投資家限定)

このファンドは2019年6月24日より組入を開始しました。

■基準価額の推移(2019年6月24日～2019年12月30日) (円)



■1万口当たりの費用の明細 (2019年1月5日～2019年12月30日)

項目	金額(円)	比率(%)
(a) 信託報酬	95	1.031
(投信会社)	(60)	(0.651)
(販売会社)	(30)	(0.325)
(受託会社)	(5)	(0.054)
(b) 売買委託手数料	3	0.037
(株式)	(3)	(0.037)
(c) 有価証券取引税	3	0.036
(株式)	(3)	(0.036)
(d) その他費用	15	0.159
(保管費用)	(13)	(0.136)
(監査費用)	(2)	(0.020)
(その他)	(0)	(0.003)
合計	116	1.263
期中の平均基準価額は9,218円です。		

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しております。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数

(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数

(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数

(注4) 金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。

(注5) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■組入資産の明細(2019年12月30日現在)

銘柄名	当期末
	比率
ニッポンコムジェスト・エマーシングマーケット マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) ニッポンコムジェスト・エマーシングマーケット マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(17,867,562千円)の投資信託財産総額(17,918,536千円)に対する比率は99.7%です。

(注2) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1オフショア人民元=15.67円	1米ドル=109.56円	1メキシコペソ=5.82円	1ブラジルリアル=27.04円
1ユーロ=122.54円	1トルコリラ=18.42円	1香港ドル=14.07円	1インドネシアルピア=0.0079円
1韓国ウォン=0.0946円	1インドアンルピー=1.54円	1南アフリカランド=7.84円	

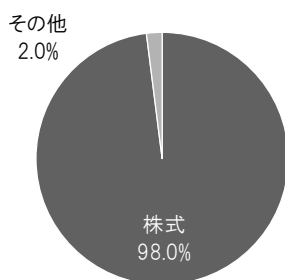
■組入上位 10 銘柄(2019 年 12 月 30 日現在)

	銘柄名	MSCI 業種分類	通貨	国(地域)	比率(%)
1	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	香港ドル	中国	6.8
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	情報技術	韓国ウォン	韓国	4.4
3	NETEASE INC ADR	コミュニケーションサービス	米ドル	中国	4.4
4	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	金融	ブラジルレアル	ブラジル	4.4
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	米ドル	台湾	4.3
6	SANLAM LTD	金融	南アフリカランド	南アフリカ	3.6
7	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	情報技術	米ドル	アメリカ	3.4
8	AIA GROUP LTD	金融	香港ドル	香港	3.3
9	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	生活必需品	中国オフショア人民元	中国	3.2
10	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	生活必需品	メキシコペソ	メキシコ	3.2
組入銘柄数		42 銘柄			

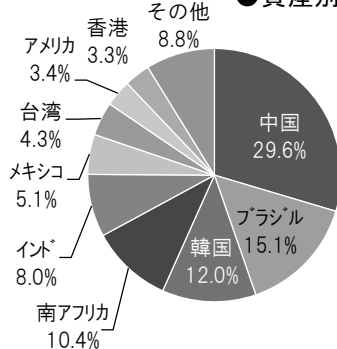
(注 1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注 2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

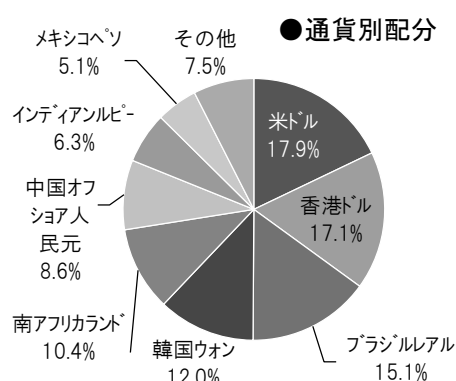
●資産別配分



●資産別配分



●通貨別配分



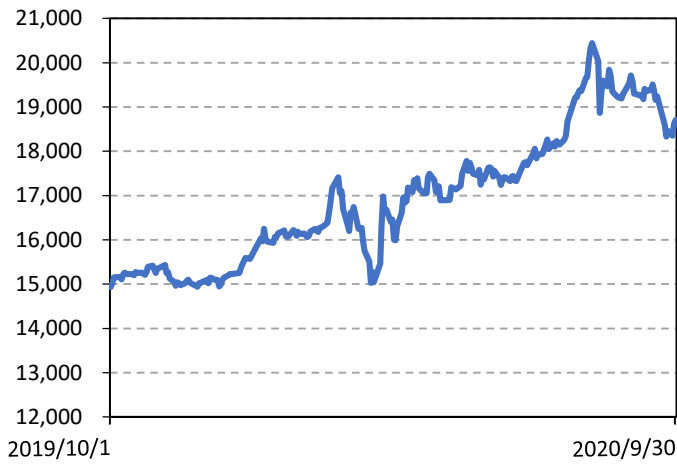
(注 1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注 2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

4. SPDRゴールド・シェア

■基準価額の推移(2019年10月1日～2020年9月30日)

(円)



■費用明細

(2020年9月30日現在)

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
0.088%	なし	0.40%

(注) 期中の費用について、消費税のかかるものは消費税を含みます。

■組入資産の明細(2020年9月30日現在)

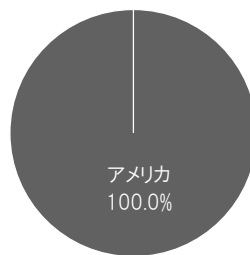
銘柄名	当期末
	比率
金	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

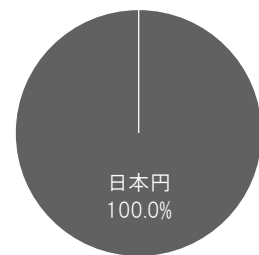
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国を表示しております。